

5 まとめ

「日本最古の農業高校 震災・津波から復活の取組み！地域で活躍する就農者増加に向けて」～志・知・技を持った就農者増加へのV字回復～をテーマに取組み2年目を終える。

各学科でこんな取組をしたら「おもしろそう」「夢がある」「将来役に立つ」など「農業をやってみたい」という動機付けになり得る仮説を立て取組んだ。また、学科共通では既存のやり方だけでなく「フロンティア精神」でそれぞれを取組み実践してきた。

しかし、アンケート結果から生徒・保護者の【実現度】の数値など、大きく上昇させるような心を揺さぶる取組には至っていない。以上のことから全体を検証すると、ここまでの実践は「農業の魅力ある授業を構築すること」で就農者を増加させるまでの成果は残念ながら出せていないことになる。

ただ、これまで各学科や学科共通の取組で「出来ない」ことが、少しずつ「出来る」に変わってきたことは先生方はじめ生徒も実感している。新規就農者増加のテーマも「出来ない」から「出来る」に変えていかなければならない。

川の急流でいきなり泳ぎ切る人はいないように、時代の移り変わりが速い中でいきなり農業経営者として成功する人はいない。そのためにも、農業後継者育成については、国や県の支援は必要である。また、農業の変革のこの時代、新技術の開発が次々と農業分野にも取り入れ始めたことを考えると、今後の農業経営形態は大きく様変わりし、機械操作やデータ分析など新たな技術を習得する必要も出てくるだろう。

後継者育成も含め「未来の農業像」を視野に、農業高校としての存在意義を忘れずに今年度の課題点を改善して来年度取組みたい。

参考資料 評価基準

※凡例

学科	学年	取組内容
科目		評価指標

資料1 全学科共通（フリースドライ）

全学科	3年	フリースドライを活用した6次産業化の実践					
課題研究		非常食の開発					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
震災を振り返る	非常食について	災害対応に関心を持ち、災害時の対処法に関する学習に意欲的に取り組んでいる	○	○			観察 ワークシート
	非常食について	非常食の検討について、関心もち、意欲的に取り組んでいる	○				ワークシート
非常食について	非常食の試作	非常食の製造に必要な知識をと技術をもち、それらを活用して製造しようとしている	○	○	○	○	観察 ワークシート
	パッケージ	非常食として活用できるよう、デザインやパッケージについて工夫している			○		ワークシート

資料2 農業科

農業	2年	高品質な水稲栽培技術の習得					
総合実習		一般社団法人日本穀物検定協会食味ランキング「特A」米の栽培					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
水稲品種について	水稲品種の品種選定	地域別栽培品種の特徴や性質に関心をもち、多品種間の比較（育苗期・栄養成長期・生殖成長期・収穫期）について意欲的に探求しようとしている。	○				レポート
土作りの方法について	有機肥料を使った土作り	土作りに関する基礎的な知識を身に付け、土の性質について理解している。				○	小テスト
	土の性質・土の分析	品質の高い米栽培に必要な土壌に関心がある。	○				レポート
水稲の栽培管理について	温度・水質調査	田植え後の水管理の基礎的な知識を身に付け、イネの生育段階での栽培管理について理解している。		○		○	技能テスト
	幼穂の観察	各品種別（出穂時期）観察し、生殖成長時期について理解している。				○	ノート
	通常管理	出穂期から収穫温度管理をおこなう基礎的な技術を身につけている。			○		観察
	収穫適期の判断	出穂後の穂の観察と、生育過程を理解し、観察と科学的な要素を組み合わせながら適期について理解する。				○	レポート 観察
食味計による品質管理について	食味計の使い方	食味計の使い方と分析に関する基礎的な技術を身に付けている。			○		実技 （使用方法）
	食味計の分析・活用方法	食味計の使い方と分析について理解している。				○	実技 （使用方法）
	データ・品種別分析	データの収集・分析に関する基礎的な技術を身に付けている。			○		実技 （使用方法）
水田の環境について	水田のいきもの調査	水田内のいきものを調査することで環境配慮した栽培が行われているかを観察し、環境保全型農業に関する基礎的な技術と知識を身に付けている。			○	○	レポート

農業	2年	米の市場調査					
総合実習		海外の米の消費動向についてまとめる					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
海外の米の市場調査について	海外の米利用について	海外での米利用について現状を把握し、興味関心を持って主体的に取り組むことを身につける	○				観察レポート
	調査方法の検討	海外で好まれる米を調べる方法について検討を行う。	○			○	レポート
	調査	海外（外国米・日本米）米について利用方法や嗜好調査を行い問題点を把握し、海外に日本米を輸出するための必要事項を探求しようとしている	○				ノートレポート
	まとめ	調査の結果をもとに、海外で販売するための課題について考察し発表することができる		○			レポート

農業	3年	米の流通					
課題研究		海外輸出までの流通経路についてまとめる					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
米の流通について	米の流通経路について調べる	米の流通について関心を持ち、卸業者から販売までの経路について理解を深める。	○			○	レポート
	海外輸出について	海外輸出について諸手続や問題点を把握し、海外に日本米を輸出するために必要事項を探求しようとしている。	○				ノートレポート
	調査	調査結果をまとめ、発表することができる		○		○	レポート発表

農業	3年	知的財産に関する学習					
課題研究		知的財産に関する申請を行う					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
商標について	商標とは	商標に関心を持ち、商標に関する学習に意欲的に取り組んでいる	○				小テストレポート
	商品名作り	商標に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を深める		○	○		観察レポート
	権利代について	商標に関する諸課題について興味・関心をもちその改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに実践的な態度を身につけている	○				レポート
	ブランドマーク	産業界が求めるブランドマークに関する諸課題について興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに実践的な態度を身につけている	○				実技
	実用新案権について	実用新案権の調査に関する分野について基礎的・基本的な技術を身につけ、インターネット検索に関する技術を適切に活用することができる				○	ノートレポート
	商標の登録について	商標・知財などに関する基礎的な技術を身につけている				○	○
産業財産権について	産業財産権	産業財産権に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を深める		○	○		観察レポート
知的財産の課題について	知的財産の問題点について	知的財産に関する諸課題について興味・関心をもちその改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに実践的な態度を身につけている	○				観察

資料3 園芸科

園芸	2年	高品質な野菜栽培技術の習得					
総合実習		糖度10度のトマト生産					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
野菜の栽培について	野菜の品種について	野菜栽培に関する基礎的な知識を身に付けている。				○	小テスト レポート
	整枝方法	整枝方法に関する基礎的な知識を身に付けて理解している。			○	○	技能テスト
	病害虫・環境要因	病害虫や環境要因に関する基礎的な技術と知識を身に付けている。			○	○	観察
	栽培環境と野菜の生育について	栽培環境と野菜の生育の関係に関する学習に意欲的に取り組んでいる。	○				観察
	野菜の肥培管理について	野菜の生理機能に影響をおよぼす施肥量の違いについて理解している。				○	小テスト
野菜栽培の経営について	労働時間の調査	野菜栽培に係る労働時間について、調査しまとめている	○	○			レポート
	経結果の分析とまとめ	野菜経営について考え、経営改善を意欲的に取り組んでいる。	○	○			実習の成果物

園芸	2年	ICTを活用した栽培管理支援技術の習得					
総合実習		ICTを活用した環境制御ができる					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
環境制御について	環境制御	環境制御に関する基礎的な知識と技術を身に付けている。			○	○	ノート
	環境制御機器の機能	環境制御機器の役割について、理解している。				○	問答法
ICTを活用した栽培管理支援技術について	使用方法	ICT（情報通信技術）に関する基礎的な技術を身に付けている。			○		実技 （使用方法）
	プログラム	環境要因がおよぼすトマトへの影響について考え、適切なプログラミングができる。		○	○		実習の成果物
	データ分析	データの収集・分析に関する基礎的な技術を身に付けている。			○		実技 （使用方法）
さまざまな先端技術について	先端農業技術を活用した管理・通常管理	先端農業技術に関心をもち、通常の慣行農法との比較（育苗期・栄養成長期・生育成長期・収穫期）について意欲的に探求しようとしている。	○				ノート

資料4 生活科

生活	2年	伝統野菜の保護					
総合実習		伝統野菜の採種と保存					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
伝統野菜について	県内の伝統野菜の種類と特色について理解を深める	伝統野菜の種類について理解している。				○	小テスト
	原種の栽培地域での採種活動	品種の保存に関する学習に意欲的に取り組んでいる。	○				観察レポート
	伝統野菜栽培の課題について	農家の抱えている問題の解決に向けて意欲的に取り組んでいる	○				観察レポート
伝統野菜の栽培について	耕作放棄地での栽培	自発的に、活動に参加し、伝統野菜の保護に取り組む意欲がある。	○				観察レポート

生活	3年	伝統野菜の消費拡大					
課題研究		伝統野菜の栽培面積の拡大					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
消費動向について	消費動向の調査	消費動向に関する知識を身につけ、調査の意義を理解している。				○	小テスト
伝統野菜のメニューの開発	レストラン・弁当のメニュー考案	消費動向を考察し、メニューを考えることができる。		○			レポート
商標について	「商標」「ネーミング」の検討を行う。	知的財産に関する学習に意欲的に取り組んでいる。	○				観察レポート
ビジネスプランの作成	ビジネスプランの作成	流通拡大について探求しようとしている。	○				観察レポート

生活	3年	農村文化の継承					
課題研究		伝統野菜の調理方法をまとめる					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
地域の文化を学ぶ	地域資源の歴史や背景、由来を学ぶ	地域資源の歴史や背景、由来を学び理解している。	○			○	ノート
	地域の調理方法、加工方法を学ぶ	地域の調理方法、加工方法を学び理解している。				○	小テスト
	伝統調理方法を実践する。	調理の技術を適切に活用している。			○		実習レポート
	伝統食材の活用方法の検討	地域資源の特徴を考察し、活用方法を考えることができる。		○			レポート

資料5 食品化学科

食品化学	3年	宮農まんじゅうの商品化					
課題研究		まんじゅうの商品化					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
和菓子について	和菓子の製造技術	和菓子の基本的な製造技術を身に付け活用できる。			○		成果物 (レポート) 実習観察
	和菓子の製造の安定化を思考する	和菓子製造の諸課題の解決や安定的製造に向けて思考できる。		○			成果物 (レポート) 実習観察
	和菓子の基本的知識	饅頭の歴史や種類など基本的知識を身に付けている。				○	成果物 (レポート) 実習観察
商品開発について	新商品開発への関心の向上	新商品開発に対して意欲的に取り組むことができる。	○				成果物 (レポート) 実習観察
	地元食材の活用の工夫	地元食材の特性について理解している。			○	○	成果物 (レポート) 実習観察
	製造技術の工夫	製造技術を応用して、新商品に活用できる。			○		成果物 (レポート) 実習観察
商品の販売について	知的所有権等の知識	商品開発の学習を通して、知的所有権について理解する。				○	成果物 (レポート) 実習観察
	販売への意欲	販売に対して意欲的に取り組むことができる。	○				成果物 (レポート) 実習観察
	販売方法等の検討	より良い販売方法、販売手法を考案することができる。		○			成果物 (レポート) 実習観察
	包装等の技術を身に付ける	販売にあたり包装や接客技術を身に付けられる。			○		成果物 (レポート) 実習観察
	賞味期限等の知識	賞味期限や食品表示などの知識を身に付けられる。				○	成果物 (レポート) 実習観察
	価格設定方法の習得	価格設定手法や収支決算方法を身に付ける。				○	成果物 (レポート) 実習観察

食品化学	3年	体験型農業の実践プログラムの開発					
課題研究		プログラムの開発					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
野菜の栽培について	小学生等との野菜の栽培	野菜の栽培に関する知識や技術を活用し、小学生等にわかりやすく説明しようとしている。		○	○	○	観察 レポート
商品化について	野菜の商品化の検討	収穫した野菜の商品化について、積極的に取り組んでいる。	○				観察 レポート
	野菜の加工について	野菜の加工について、技術を身につけている。			○		レポート
	パッケージについて	目的に応じてパッケージを考案しようとしている	○				作品

食品化学	3年	小中連携					
総合実習		給食メニューの開発と提供					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体的評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
地域の食材について	地域の食材について	地域の食材と活用方法について知識を深める	○				レポート
新しい献立づくり	小学生との献立作り	小学生と協力して発想力のある献立を作ろうとしている	○		○		実技・レポート
	食のプレゼンテーション	考案したメニューをわかりやすく説明できる		○			プレゼンテーション
	献立の作成	実践を通して、美味しく、安全に調理実習を進める。			○		実技・レポート
出前授業	中学生への出前授業	地域食材の活用方法を、中学生にわかりやすく説明できる				○	レポート

資料6 農業機械科

農業機械	2年	エネルギーの理解					
原動機		エネルギーの理解をはかる					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体の評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
エネルギーとは	エネルギーとは	エネルギーとは「仕事を行う」ことであることを理解する				○	観察
省エネルギーを考える	省エネルギーを考える	電気やガス以外のエネルギーを考察し、省エネルギーについて適切に判断できる能力を身につける		○			ワークシート
省エネルギーの種類	省エネルギーの種類	代替エネルギーについて基本的な知識を身につけ、地球環境保全の意義や役割を理解している				○	ワークシート
エネルギーの変換	エネルギーの変換	「エネルギー保存の法則」を用いて、変換しても総和は変わらないことを理解している				○	小テスト
省エネルギーを利用した植物のテスト栽培	省エネルギーを利用した植物のテスト栽培	代替エネルギーを用いて植物を育てるテスト栽培を行う技術を身につけ適切に活用している			○		作品

農業機械	2年	植物工場					
総合実習		植物工場での野菜栽培の実施					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体の評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
植物工場について	植物工場を運営するにあたっての収支	費用対効果に関する基礎的な知識を身につけ収支について理解している				○	ワークシート
	労働時間比較	費用対効果について考え、経費削減について探求しようとしている	○				ワークシート
	露地栽培との管理比較	経費削減に関する基本的な知識を身につけ労働力の違いを理解している		○		○	ワークシート

農業機械	2年	環境教育					
総合実習		出前授業の実施					
学習内容	学習活動	学習活動における主な具体の評価規準	関心	思考	技術	知識	評価方法
エネルギーについて	「エネルギーの概念」を伝達する	人に伝達することによってより深く考える力を身につけている		○			ワークシート
	「再生可能エネルギー利用の歴史」を伝達する	エネルギーに関する基礎的な知識を身につけ、エネルギーの歴史について理解している				○	ワークシート
	出前授業	再生可能エネルギーの活用と植物工場についてわかりやすく発表できる。	○			○	ワークシート

参考資料 各学科の取組

宮城県農業高等学校 取組状況

活動名	実施 年度	学年	人数	連携先等	活動内容	成果	
農業科	H25 H26 H27	2,3年	40	森永乳業株式会社酪農部	<p>①搾乳後の乳製品の製造・流通について理解する。</p> <p>②飼料管理の必要性と重要性を理解する。</p> <p>③受胎期移動の視学・体験で技術を習得する。</p>	<p><H25></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校産の部グラントチャリティ ・宮城県農業クラブ家畜畜産競技大会 ・肉牛の部 団体優勝賞 ・乳牛の部 団体優勝賞 ・個人 個人優勝賞 <p>全国農業クラブ畜産畜産競技大会出場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優秀賞 <p><H26></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県農業クラブ家畜畜産競技大会 ・肉牛の部 個人優勝賞 ・宮城県同志会共進会 ・クラブトップ 優秀賞 ・東日本ティリーショー 出場 <p><H27></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県B&Wショー ・入賞 ・宮城県ホルスタイン共進会 ・上位入賞 ・全日本ホルスタイン共進会出場 ・東北農業クラブ家畜畜産競技大会 ・肉牛の部 個人優勝賞 ・宮城県農業クラブ畜産発表大会 ・優秀賞 ・NPO法人しごとの架け橋『私の仕事』作文コンテスト ・文部科学大臣賞 受賞 	
					金の井酒造	<p>本校で栽培している米を利用して日本酒の醸造を行って貰っている。蔵用以外での加工方法について学ぶ。</p> <p>酒米「蔵の華」 直搾栽培 58a栽培 86袋/30kg袋 出荷 1升瓶 1500本製造 2月中旬 日本酒の製造方法について講話 蔵を見学 2年生 13名参加</p>	<p>実際に宮城県を輸出し海外のマーケットに宮城県を広めることができた。</p> <p>つや姫 2kg入袋 (精白米) 104袋出荷</p> <p>オーストラリア シドニー「日系のラッキーマー」11月下旬より限定で販売</p> <p>海外では和食ブームで和風レストランが多くなってきており、日本米の需要について調査を行う。今後の新たな市場を調査することで地域に情報提供を行った。</p>
					農産物海外輸出プロジェクト学習	<p>米の輸出方法(海外)についてフクダ物産・木藤伸精と連携を図った。</p> <p>10月15日(木) 米の流通について講話</p> <p>10月19日(月) 米の等級検査について講話</p> <p>12月10日(木) 輸出に向けて準備</p>	

農業科	<p>徳型農業による米のブランド化研究プログラム</p> <p>地域連広産産保存プログラム</p> <p>被災地域の緑化技術開発プログラム</p> <p>カルビー連携プログラム</p> <p>ブランド化を目指したイチゴ・メロン栽培プログラム</p> <p>地域連広産産保存プログラム</p> <p>被災地域の緑化技術開発プログラム</p> <p>ピックルス連携プログラム</p> <p>スマート農業実践プログラム</p>	H26 H27	23年	(株)ホトアグリビジネス 久松浦農園	<p>米の品質・収量を左右する「土」についてクボタより出前授業講座。</p> <p>「土づくり」講座 2年生13名、農家、若干名</p>	<p>近年のお米は品質「食味」を重視して栽培している農家が多くなってきている。米のコンテストなどに出品し、評価を高めることでブランド化を目指す。ことで収入をアップすることを学ぶこととなる。松浦農園と共に、産地栽培「つや姫」の食味値を上げることで地域ブランド化を目指す。</p> <p>①美田園施設住宅の現状の生活状況や調査した。津波被災地、元広浦校舎跡の土壌成分分析した。津波から生き残った校舎から培養により増殖させ益利の実験出来た。(平成26年度日本学校農業クラブ連盟 プロジェクト発表大会 優秀賞やココアコーン賞 フォーラム2014環境教育賞)</p>
		H24 H25 H26 H27	23年	(公益財) 日本花の会 大河原町さくら会	<p>①美田園施設住宅の現状の生活状況や調査する。</p> <p>②津波被災地、元広浦校舎跡の土壌成分分析する。</p> <p>③津波から生き残った校舎から培養により増殖させ益利の実験する。</p>	<p>栽培技術の向上により、高品質・高収量の(1/5a) 収穫が可能となった。体験を通して商品開発やマーケティングについて知ることができた。また、売店での対面販売では、お客様と接する楽しさを体験することができ、販売職への進路決定につながった。</p>
		H24 H25 H26 H27	23年	名取市観光協会復興部会	<p>①校の生管委員の調査研究(野生環境調査)を行う。</p> <p>②木質ガレキを活用した産産法の開発をする。</p>	<p>ブランド化における具体的な検討商品化に向けた課題</p>
		H24 H25 H26	23年	カルビー株式会社	<p>①シャガイモの栽培・加工・販売の栽培技術の習得する。</p> <p>②商品開発を企業連携で行い技術・ノウハウの習得する。</p>	<p>①美田園施設住宅の現状の生活状況や調査した。</p> <p>②津波被災地、元広浦校舎跡の土壌成分分析した。</p> <p>③津波から生き残った校舎から培養により増殖させ益利の実験出来た。</p>
		H26	23年	地域農家 生産法人	①施設見学、講義、ブランド化に向けた検討	<p>ブランド化における具体的な検討商品化に向けた課題</p>
		H24 H25 H26	23年	(公益財) 日本花の会	<p>①美田園施設住宅の現状の生活状況や調査する。</p> <p>②津波被災地、元広浦校舎跡の土壌成分分析する。</p> <p>③津波から生き残った校舎から培養により増殖させ益利の実験する。</p>	<p>①美田園施設住宅の現状の生活状況や調査した。</p> <p>②津波被災地、元広浦校舎跡の土壌成分分析した。</p> <p>③津波から生き残った校舎から培養により増殖させ益利の実験出来た。</p>
		H24 H25 H26 H27	23年	(公益財) 日本花の会 名取市観光協会復興部会 大河原町さくら会	<p>①校の生管委員の調査研究(野生環境調査)を行う。</p> <p>②木質ガレキを活用した産産法の開発をする。</p>	<p>①津波から生き残った校舎から培養により増殖させ地産産を実験出来た。(平成26年度日本学校農業クラブ連盟 プロジェクト発表大会 優秀賞やココアコーン賞 フォーラム2014環境教育賞)</p> <p>津波から生き残った校舎から培養により増殖させ益利の実験出来た。</p>
		H25 H26 H27	2年	(株)ピックルス コーポレーション	<p>①キョウリの栽培・加工・販売に関する基本的事項を習得する。</p> <p>②商品開発を企業連携で行い、技術・ノウハウを習得する。</p>	<p>栽培から商品化までの一連の学習を通じて農業に対する興味関心が増し、農業関連の会社に就職する生徒がみられた。</p> <p>多様な学びを経験できたことで、6次産産を主体的に捉えることができるようになった。</p>
		H26 H27	12年	宮城県農業大学校 宮城県農業園芸総合研究所 所長北学院入学工学部	<p>①ICTを活用した商品開発</p> <p>②ICTを活用した商品管理支援技術の習得</p>	<p>①画像センサーの設置とクラウドシステムの構築により、80分間のトマトの画像やハウス内の気象データの取得が可能となり、遠隔でのモニタリングが可能となった。</p> <p>②気象センサーで収集した画像からタイムラプス画像を撮影し教材として活用したところ、生徒の学ぶ意欲の向上がみられた。</p>

生活科	仙台白菜栽培プログラム	H24 H25 H26	2,3年	120	J/A 生協 宮野学園女子大 朝陽総研 朝陽総研 (株)JINRO	①仙台白菜の栽培・加工技術を習得し、新メニューを開発したものをレストランで実用化する。 ②仙台白菜の栽培技術・付加価値をつけた加工技術を習得する。 ③契約栽培農家見学 ④みやぎ生協におけるトマトジュース販売実習 ⑤管理栄養士による加工用トマト調理実習	仙台の伝統野菜の栽培をとおして、地域に貢献する人材育成。(レストランで販売や地域文化の継承)
		H27	1年 2年 3年	100		①塩釜や青森県での採種・定植へ参加 ②味噌と連携し白糠キムチフェスティバルに白菜を提供できた。 ③みやぎ生協販売のキムチの漬付け物の商品化へ協力 ④ポラテニアピアスピリットコミュニティ賞受賞 ⑤ビジネスプラン全国高校100選に入賞	
食品科学科	カゴメ栽培プログラム	H24 H25 H26 H27	2,3年	80	カゴメ株式会社	①加工用品種の栽培技術・付加価値をつけた加工技術を習得する。 ②契約栽培農家見学 ③みやぎ生協におけるトマトジュース販売実習 ④管理栄養士による加工用トマト調理実習	企業連携による、栽培・加工・販売を主体的に促せる人材の育成 販売の実践による進路意識の醸成 調理実習を通じた食糧教育の推進
		H24 H25 H26 H27	1~3年	120	村田町そば生産組合 宮城そば打ち研究会 KUBOTA JAL 海田物産 名取市 観光物産協会 北盛地区生産組合	①そば栽培の栽培管理・そば打ちの技術を習得する。 ②そばを使った交流活動を行う。 ③そばを使った交流活動を行う。 ④全国高校生そば打ち選手権参加する。	被災地でそばの栽培・収穫・加工し6次産業化を主体的に促せる人材育成。 クレーンクレーンフェア特別賞や観光甲子園グランプリ受賞、MFRofectAward最優秀賞、フードアクションニッポン3年連続入賞
農業機械科	工場見学プログラム	H24 H25 H26 H27	1, 2年	80	仙台中央製菓市馬 株式会社健崎 株式会社新澤醸造店 ニッカフーズキー 工場	①食品製造業・流通現場での実態を見学する ②工場での製造技術・衛生面での取り組みを今後の実習に生かす。 ③流通現場を回ることで食材の調達や販売方法に気付く。 ④再生可能エネルギーの仕組みと、エネルギーの活用方法を習得する。	求人の開拓 衛生面での意識向上 仙台の伝統的な食材に対する知識向上
		H26 H27	3年	35	千葉大学	①再生可能エネルギーを實際の栽培に活かす学習が出来た。 ②千葉大学と連携し、植物工場での植物生育のためのノウハウを学習することが出来た。	